



With

第13号(2023年度 NO.5) 令和6年1月22日(月)発行

新しい年が始まりました。昨年中はおしま学園分校を応援してくださっている皆様と一緒に、多くの新しい活動に取り組むことができました。ありがとうございました。今年も、皆様と手を携えてより一層充実した教育活動を展開して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

去る12月22日(金)、第3回学校運営協議会(分校部会)を開催しました。学校と地域の連携・協働活動 With プロジェクトの4つの取組や防災教育の活動報告を行いました。熟議では「次年度の学校と地域の協働・連携について」をテーマに活発な意見交流が行われました。特に防災教育については、地域やおしま学園との具体的な連携の方向性について共有することができました。今号では、第3回学校運営協議会の内容について、お知らせいたします。



■学校と地域の連携・協働活動 With プロジェクト及び防災教育活動報告

1 絵本の読み聞かせ(小学部)



北斗市の絵本の読み聞かせサークル「えほんの会えくぼ」様に来校していただき、読み聞かせ会を開催しました。児童は、日ごろから絵本に親しみをもっており、当日を楽しみに待っていました。読んでいただいた絵本や紙芝居は、児童にとって関心の高いものばかりでした。さらに、手遊びや小道具を使用して盛り上げてくださるなど、児童は絵本の世界にどんどん引き寄せられ、あっという間の1時間でした。読み聞かせのあとは、サークルの皆様と児童が一緒にいか踊りを踊り、集合写真を撮り、楽しい交流の時間をもつことができました。北斗市社会教育課の皆様、えくぼの皆様、ありがとうございました。

2 エゴスキュー・メソッド教室(中学部)

北斗市在住の野口朋子様を招いて、エゴスキュー・メソッド教室を開催しました。体育の学習の中で、体操を地域の方と一緒に取り組みたいという思いから実現したものです。エゴスキュー・メソッドとは、自分で筋肉をコントロールする体操です。身も心もリラックスできる時間となりました。参加した生徒が作成したお礼のお手紙のお返事を頂き、心温まる交流ができました。野口様、ありがとうございました。



3 トラピスト通り並木道ライトアップ

北斗市の事業である「トラピスト通り並木道ライトアップ」に、今年度も参加させていただきました。今年度は、ライトアップ見学に向けて、北斗市観光課の方と9月から一緒に取り組んできました。事業の説明、キャンドル制作、キャンドルの絵付け、ライトシェード

制作を終え、12月20日に児童生徒が制作したキャンドルを自分たちの手で灯し、見学することができました。施設入所している児童生徒が見学に向かうことができるよう北斗市観光課をはじめ、多くの皆様の御尽力により、バスを利用して幻想的な会場に行くことができました。また今年は美味しいココアを飲むというお楽しみが増えました。おしま学園に入所する児童生徒にとっては、夕刻より外出するという非日常的な体験をすることができました。



当日は、石別中学校をお借りしたり、ココアを飲むための椅子やテーブルを用意していただいたりなど、児童生徒が安心して参加できるよう配慮いただきました。御協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

4 いさりび鉄道での作品展示

児童生徒の作品を多くの方に見ていただきたいという思いを学校運営協議会の中でお伝えしたところ、いさりび鉄道での展示について教えていただいたことからスタートした取組です。2月23日(金)～3月8日(金)の2週間に渡り展示させていただけることになりました。二次元コードを活用して、作品展や作品一つ一つに御感想を頂く予定です。

5 防災教育の取組



これまでの防災教育の取組に加え、今年度から一日防災学校をスタートさせました。避難訓練、煙体験、段ボールベッドや簡易トイレなどの防災グッズ体験、学校に保管してある非常食を給食とするという防災教育一色の日となりました。また、児童生徒を対象としたものばかりではなく、教職員のみで実施する避難訓練や救急救命講習、不審者対応研修なども実施しており、有事の場合に備えています。

今後は、本校の防災教育について御意見を頂くとともに、当別地区の防災についても地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。



■熱議「次年度の学校と地域の協働・連携について」



今年度の取組を振り返り、来年度は学校と地域が協力してどのような取組に発展できるか、防災教育を地域の方とともにどのように取り組むことができるかについて意見交流を行いました。特に防災教育の取組については、町内会、おしま学園の取組や当別地区の想定される災害被害について情報共有しました。町内会では、毎年小学校や中学校と連携し避難訓練を実施しており、高齢者が多い地区であることから、避難所まで移動する時間を把握することも大切な防災の取組

というお話がありました。また、有事の際にはおしま学園と学校の連携が必要であり、今後考えていくことが必要であること、侑愛会の一部施設が福祉避難所としての役割を担っていることなどが話されました。実際に大雨による被害があった際の地域の状況を共有し、今後の防災に関する取組について地域と連携し取り組んでいくことの重要性を確認し、協議していくことが確認されました。また、次年度の With プロジェクトについては、石別地区文化祭や石別ふれあい餅つき祭りへ今後も参加してほしいという地域からの願いを伺ったり、作品展示の機会として北斗市のイベントや新函館北斗駅の活用、分校に出向いてもらうばかりではなく、地域行事に出向いていくような取組が考えられるということも話されました。そして、こういった活動は児童生徒の笑顔が多く見られたり、発見もあったりするなど、次年度以降も継続してほしいという御意見もありました。

最後の中野会長による挨拶では、With プロジェクトの取組は共生社会の実現に近づくことができ、こういった取組が児童生徒の成長につながり、地域で暮らすことの一步となるというお話を頂き、会を閉じました。委員の皆様から頂いた御意見を今後の教育活動に生かして参ります。ありがとうございました。



今回の学校運営協議会では、事務局だけではなく With プロジェクトや防災教育を実際に実施した教員も参加しました。加えて、前回同様、学校運営協議会に参加できない教職員は、オンラインで学校運営協議会の様子を参観しました。初めて参加した教員からは、活発で具体的な意見交流が行われていることから、多くの教職員が運営協議会の場に参加できると良いという感想が挙げられました。今後も、多くの教職員が学校運営協議会委員の皆様と直接意見交流ができるよう工夫し、学校と地域の連携・協働について協議していきたいと考えています。今回も年末のお忙しい中でしたが、御出席いただきありがとうございました。

次回は令和6年2月21日(水)に、次年度の学校運営方針について御意見を頂く予定です。七飯養護学校との合同の開催となり、会場は北斗市総合文化センターかなで一となっております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクールや学校と地域の連携・協働活動についての御質問や御意見等は、CS推進室 工藤・松田(0138-75-2717)までお願いいたします。



2024
今年もよろしく
お願ひます